

最適な
"非対称"が
機能を引き出す!

脳卒中・整形外科リハの 新しい動作戦略

～左右対称を追わない、実践的アプローチの極意～

運動器編

日 時:2026年6月21日 (日) 10:00 ~ 16:00

会 場:インターネット生中継セミナー

講 師:井原 拓哉 先生(東京科学大学)

対 象:PT・OT・ST・看護師(左記以外でも受講可)

受講料:会員9,800円(税込) 一般12,800円(税込)

※永久保存版
PDFスライド付

今、会員に
なると 年会費 4,900円が無料
実質 7,900円 割引

2週間見逃し
受講期間あり



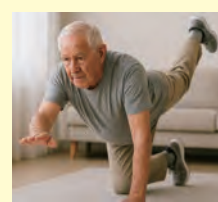
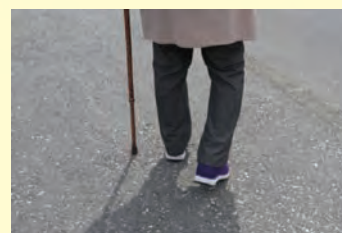
「左右対称にそろえること」が 整形外科リハのゴールだと思いませんか?

整形外科では「術側と非術側」を比較しがちですが、人間の身体は本来「非対称」で動くことで効率や安定性を得ています。にもかかわらず、無理に対称を求めると、かばい動作が増える、痛みが助長される、再受傷リスクが高まることもあります。本講座では、整形外科領域に精通した講師陣が、「どの非対称は個性として許容し、どの非対称は治療すべき問題なのか」を、エビデンスと臨床経験に基づき明確に解説します。

対称を追わず、最適な非対称を目指す スペシャルプログラム



- Program ① 運動器疾患にみられる非対称歩行の基本パターン
～変形性股関節症を中心に～
- Program ② 歩行の非対称性を“見える化” 歩行周期ごとの特徴と臨床所見
- Program ③ 保存療法における最適な非対称戦略
～初期の変形でどこまで代償動作を許容すべきか～
- Program ④ 非対称動作がもたらすリスクと進行因子
～拘縮・隣接関節障害進展のメカニズム～
- Program ⑤ THA・TKA術後に求められる「対称性」獲得
～長期的メリットからみた動作再建法～
- Program ⑥ ここが臨床のジレンマ! いつ非対称を許容し、いつ修正するのか?
- Program ⑦ 体幹・骨盤のコントロールを鍛える運動療法
～非対称から対称へ移行させる実践～



ほか

※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

全2講座
シリーズ
受講もできます

5月23日(土)
脳卒中 編



2回まとめて
申し込むと
クーポン
2,000円分
プレゼント!

各講座の詳細は
HPをご覧ください。



受講
方法

ホームページよりオンライン登録
日本離床学会

Q 検索

お問い合わせ
お申込先



臨床を元気に!
日本離床学会

講 座
コード
R-352

